

リブリオン 3



図書館からのお知らせ

【学生選書ツアー報告】

2月17日に紀伊國屋書店新潟店にて、学生選書ツアーを開催いたしました。当日は放課後図書倶楽部の部員を含む5人の学生が参加し、約100冊の本を選びました。学生が選んだ本については、4月から図書館1階第一閲覧室にて展示いたします。貸出もできますので、学生がどんな本を選んだかは是非来てください。



選書ツアーについては9月と2月の年2回開催しています。次回は9月にジュンク堂書店新潟店にて開催する予定です。学生の皆さんの参加をお待ちしております。

【編集】放課後図書倶楽部・図書館
【発行】新潟青陵大学・新潟青陵短期大学部図書館
〒951-8121 新潟県新潟市中央区水辺町1-5999
TEL:025-266-9880 FAX:025-230-7749
【発行日】2015年3月31日

いろいろな本 を お し ら せ て 紹 介 し ま す ！

敬職員の おすすめ！

図書館 図書課課長 高野 聡

古代ローマを愛し、イタリア人の夫を持ち、コミック『テルマエ・ロマエ』を描いた著者が、古今東西の理想の男性・女性を取り上げながら、ガラパゴス化しがちな現代の日本人に持ってほしい人間性を示した一冊。

著者はその人間性を植物が成長する「ワキワキ・メキメキ」として表現しているが、常に自分を外に出していくイタリア人と自分を内に「**『男性論』** ヤマザキ マリ 秘める日本人の決定的な違いはコミュニケーション能力にあり、日本人には「柔軟性」「寛容性」「行動力」が不足していると言う。それは、国が大学に補助金を出して学生に身に付けてほしいという能力に囚わらずも一致している点が興味深い。



『**男性論**』 ヤマザキ マリ
文藝春秋 2013年

「置かれた場所で咲きなさい」「オンリーワン」という言葉を「おためごかし」として否定し、むしろ一歩踏み出して新しい価値観を求めることをよしとする著者にとって、日本にタイムスリップして古代ローマに銭湯の価値を伝えた「テルマエ・ロマエ」の主人公ルシウスは著者の理想の男性像だったのである。

放課後図書倶楽部 部員募集！

Q. どんな活動をしているの？
A. 一部を紹介すると…
このフリーペーパー「リブリオン」の発行
リブリオバトルの運営、参加
選書ツアーの参加
などなど…

Q. ピリオバトル？選書ツアー？？
興味はあるけどどうすればいいの？
A. こちらへの連絡を待っています！
nsu.tosyo@gmail.com
Twitterもあるよ！ @bungeibuseiryu



本好きな学生が集まってゆったり楽しく活動しています！
(学業への影響は心配なしなので気軽にどうぞ☆)

今、一番読みたい一冊 アンケート

結果

- 1位 『植物図鑑』（著者：有川 浩・出版社：幻冬舎）
- 2位 『図書館戦争』（著者：有川 浩・出版社：角川書店）
- 3位 『空中ブランコ』（著者：奥田 英朗・出版社：文藝春秋）
- 4位 『永遠の0』（著者：百田 尚樹・出版社：太田出版）
- 5位 『きみに友だちはいない』（著者：橋本 哲史・出版社：講談社）
- 6位 『生物と無生物のあいだ』（著者：福岡 伸・出版社：講談社）



今回は、有川浩さんの作品が2作入っていました。

『植物図鑑』は、主人公の女性がイケメンの男性を拾い、不思議な同棲生活を始める。ちょっと切な甘いお話です。
対して『図書館戦争』は本が検閲対象になった2019年から30年経った未来のお話。主人公、笠原研は、高校時代に会った図書館員の“王子様”を追い求め、行き過ぎた検閲から本を守るために、図書隊に入隊し、情熱が認められ、図書特殊部隊に配属される。というお話です。

『空中ブランコ』は、少し変わった精神科医のお話ですね。これは昨年イン・ザ・プールと一緒に読むとより、楽しいかもですね。でも、この本一冊でも楽しめると思います！そもそも、この精神科は、伊良部総合病院という病院の地下にあるのです。普通のお医者さんのお話ではないことは確かです。彼のところに来るのは、跳べなくなった空中ブランコ乗りから尖端恐怖症のヤクザなど、様々な患者。ハタから見たら少し変わったとんでもない彼も、彼の患者からしたら名医なのかもしれないというちょっと変わった感じのお話で面白いです！

『永遠の0』は戦争のお話ですね。映画にもなりました！このお話は2回読みたいお話です。1回目は普通に読んで、2回目は歴史に興味があれば、是非、零戦や特攻隊について調べてから読んでみてほしいです。色んな意味で見方が変わるお話だと思います。戦時下において、「生きる」意味について、語りかけたお話だったと思います。

さて、『きみに友だちはいない』は自己啓発本ですね！一見、難しそうですが、私たちに必要なのは、SNSで繋がる友だちではなく、自分のやりたいことに共鳴して、更に成し遂げるために苦渋を共に出来るような人間だと書いてあります。これを、どう受け止めるかは自分次第ですね。こういった本で自分の意見を考えてみるのも良いかもしれません。
最後は、『生物と無生物のあいだ』ですね！この本は、生物化学についての本でした。「生命」という誰もが身近に持っている、感じているものについて述べてある一冊です。

以上が今回の結果でした！時間がある人は読んでみてください！

アンケートにご協力いただきありがとうございます！

学生のおすすめ！

看護学科 2年 宮内 裕葵子 さん

私がおすすめします本は喜多喜久作の「ラブ・ケミストリー」です。本屋でぼっと目に止まり「素敵なお話だなあ…」と思ってぼんやりしていたら、いつの間にかお持ち帰り（しどは通しました）して読了してしまっただけです。少しだけどういってお話を紹介…。



『ラブ・ケミストリー』
喜多 喜久
宝島社文庫
2012年

この本の舞台は東大大学院。主人公は有機化合物の合成レートを争う特殊能力を持つ東大生生の草食男子です。フラスコや実験ノートの他に、研究室で没頭する毎日を送っていました。ところが彼は、自身の初恋によってその特殊能力を失ってしまうのです。悶々とした日々を過ごす彼の前に、突然死神を名乗る少女が現れて…。最終章には誰もが驚くこと間違いなしの結末が待っています。化学が嫌いでも文系でも問題なしで楽しめる一冊です。



ピリオバトル

ピリオバトルって？

- ①本を選ぶ
自分が読んで面白かった本や、人にお薦めしたい本を選ぶ。
- ②本を数人で紹介しあう
1人5分でお薦めの場面や好きな登場人物等、本の紹介をします。
- ③チャン本を決める
読んでみたい、面白そうと思った本に投票して、勝敗（チャン本）を決める。

☆自分では読んだことなかったジャンルの面白さに気づいたり、以前読んだばかりの本に出会ったりします！
☆青陵大学でも開催しているので、ぜひ一度参加してみてください。見学だけでも大歓迎です！！

【編集後記】
このたびはピリオンをお手に取っていただき、ありがとうございました。寒や深まる季節になってきましたね。こんなときは、こたつにみかんやらぬ、こたつに本なんていかがでしょうか？今回のアンケートは「今一番読みたい一冊」でした。私が読みたい本は、東野圭吾さんの「自銀ジャック」です。冬が舞台となっており、まさにこの季節にぴったりですね。この冬、素敵なお話に出会えますように。(青柳)

